デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HDC-30X	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　（ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
　（ニ）車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
　（ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
　（ヘ）本書のご提示がない場合。
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-30X形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-30X」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P86

I.mega

目次

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

本機や電池を火の中に投げ入れない。
破裂による火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

アルカリ電池に注意する。
アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

⚠ 注 意

コネクタ部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

本機の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単3形マンガン乾電池は使用できません。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、メモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

電源のオン／オフ時などの各操作時には、電子音で各操作をおしらせします。この操作音のオン／オフや大きさを設定することはできません。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機を使用して撮影をする場合は、必ずSDメモリーカード（別売）が必要です（32/64/128/256/512MB対応）。本パッケージにはSDメモリーカードは同梱されておりませんので**SDメモリーカードを別途ご準備頂く必要があります。**（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をよくお読みください。**
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- メモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

■ 商品概要

本製品の主な特長は以下の通りです。

主な特長

○ 約315万画素CMOSイメージセンサー搭載
○ 約504万画素（2592×1944ピクセル）の高画素モード搭載（PixelAmp機能） P48
○ 1.6型TFTカラー液晶モニター搭載
○ SDメモリーカードスロット搭載（※1） P20
○ 季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（約17cm〜約22cm） P29
○ 動画撮影機能 P31
○ みんなで楽しめるビデオ出力端子付き P41
○ 多彩な再生モード（シングル再生、ズーム再生、インデックス再生、オート再生、動画再生） P34
○ 使い方広がるPCカメラ機能 P71

（※1）SDメモリーカードは別売です。

■ 同梱品

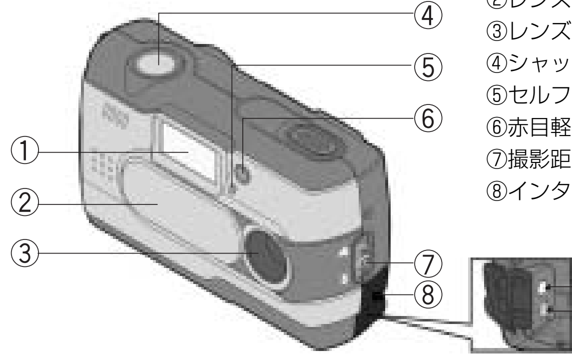
以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

・カメラポーチ
・ストラップ
・専用USBケーブル
・専用ビデオケーブル
・インストール用CD-ROM（PCカメラ専用）
・単3形アルカリ乾電池2本
・取扱説明書（保証書付）

●**本パッケージにはSDメモリーカードは同梱されておりません。SDメモリーカードについて** P9
●**以降、この取扱説明書では、専用USBケーブル、専用ビデオケーブルをUSBケーブル、ビデオケーブルと表記します。**

■ 各部の名称

正面

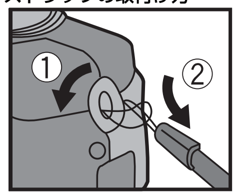


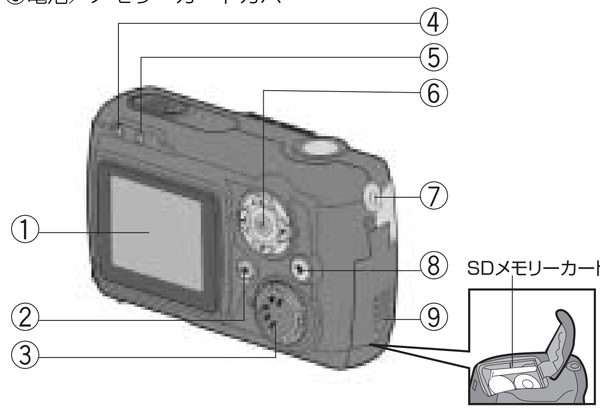
①ストロボ
②レンズカバー（電源スイッチ）
③レンズ
④シャッターボタン P27
⑤セルフタイマーランプ（レッド）
⑥赤目軽減ランプ（レッド）
⑦撮影距離切替スイッチ P29
⑧インターフェースカバー

背面

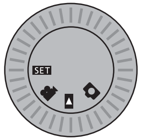
①液晶モニター
②ディスプレイ（DISP）ボタン P13
③モード（MODE）ダイヤル P12
④BUSY（ビジー）ランプ（レッド） P13
⑤MACRO（マクロ）ランプ（グリーン） P13
⑥コントロールパネル（セレクトボタン／セットボタン） P12
⑦ストラップ取付部
⑧ストロボボタン P12
⑨電池／メモリーカードカバー

ストラップの取付け方





モード（MODE）ダイヤル



カメラの動作するモードを切り替える際に使用します。

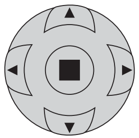
SET セットアップモード
　撮影時の設定や日付/時刻など各種設定やメモリフォーマットを行うモードです。

動画撮影モード
　動画を撮影するモードです。

▶ 再生モード
　静止画／動画を再生したり、画像の消去をするモードです。

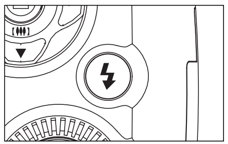
静止画撮影モード
　静止画を撮影するモードです。

コントロールパネル（セレクトボタンとセットボタン）



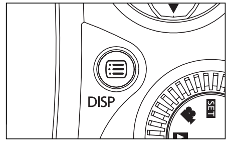
各種メニューを操作する際や、ズーム撮影をする際 P30 に使用します。
各種メニューを操作する際の基本的な操作は、セレクトボタンの【▲】【▼】【◀】【▶】を押して、メニューや項目を選び、セットボタン【■】を押して決定します。

ストロボボタン



静止画撮影モード時にストロボ撮影をする際 P28 に使用します。 ▶ 再生モード時はインデックス再生画面に切り替える際 P36 や、ズーム再生画面でズーム倍率を切り替える際 P35 に使用します。

ディスプレイ（DISP）ボタン



静止画撮影モード／動画撮影モード時に液晶モニターの表示を切り替える際 P16 に使用します。
▶ 再生モード時はズーム再生画面に切り替える際やズーム倍率を切り替える際 P35 に使用します。

以降、この取扱説明書では、コントロールパネル、ストロボボタン、ディスプレイボタンでの操作を次のように表記します。
・コントロールパネル（セレクトボタンとセットボタン）の操作
**　→【▲】【▼】【◀】【▶】、【■】を押す**
**　→【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ**
・ストロボボタン、ディスプレイボタンを押す操作
**　→ ϟ 、 ☰ を押す**

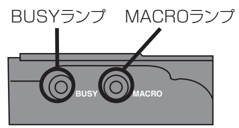
BUSY（ビジー）ランプ（レッド）

点灯：カメラ起動中／画像記録中など
点滅：ストロボ充電時など

MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）

点灯：マクロモード時（撮影可能範囲約17cm～約22cm）
消灯：標準モード時（撮影可能範囲約110cm～∞）

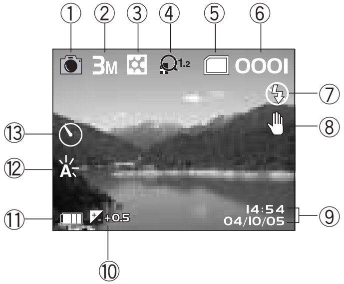
MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）が点灯している状態で撮影可能範囲外の撮影を行うと焦点が合わないのでご注意ください。



以降、この取扱説明書では、MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）、BUSY（ビジー）ランプ（レッド）をMACROランプ、BUSYランプと表記します。

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時　静止画を撮る P26



① 静止画撮影モードマーク
②画像サイズ（記録画素数）P48
（※〈通常表示〉時は非表示）
- 5M 2592×1944
- 3M 2048×1536
- 2M 1600×1200
- 1M 1280×960

③画質（圧縮率）P48
（※〈通常表示〉時は非表示）
- ファイン（低圧縮（1／8）モード）
- ノーマル（標準圧縮（1／20）モード）

④ズーム倍率（※ズームなし時は非表示）P30
⑤メモリ残量
- M メモリーカードが入っていません。
- メモリ残量は十分です。
- メモリ残量が少なくなっています。
- まもなくメモリ残量がなくなります。
- メモリ残量がありません。

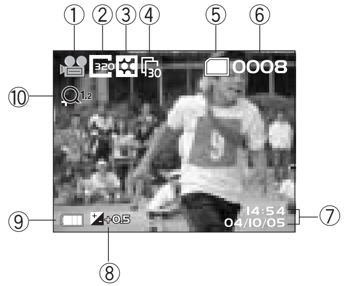
⑥撮影画像枚数
⑦ストロボモード P28
- 発光禁止モード
- オートモード
- 赤目軽減（オート）モード

⑧手ぶれ注意マーク
⑨日付/時刻（※〈通常表示〉時は非表示）
⑩露出補正（※〈通常表示〉時は非表示）P52
⑪電池残量 P19
- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

⑫ホワイトバランス P51
（※〈通常表示〉時は非表示）
- オート
- 太陽光
- 白熱灯
- 蛍光灯
- 曇り

⑬セルフタイマー P55
（※オフ時は非表示）

動画撮影モード時　動画を撮る P31



① 動画撮影モードマーク
②画像サイズ（記録画素数）P31
- 640×480
- 320×240

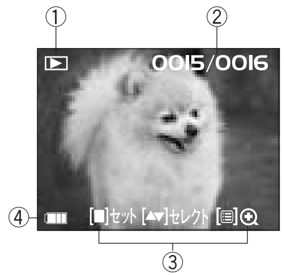
③画質（圧縮率）（※〈通常表示〉時は非表示）
- 圧縮率1/10 固定

④フレームレート（※〈通常表示〉時は非表示）
- 30フレーム／秒 固定

⑤メモリ残量
- M メモリーカードが入っていません。
- メモリ残量は十分です。
- メモリ残量が少なくなっています。
- まもなくメモリ残量がなくなります。
- メモリ残量がありません。

⑥撮影画像枚数
⑦日付/時刻
⑧露出補正（※〈通常表示〉時は非表示）P52
⑨電池残量 P19
⑩ズーム倍率（※ズームなし時は非表示）P30

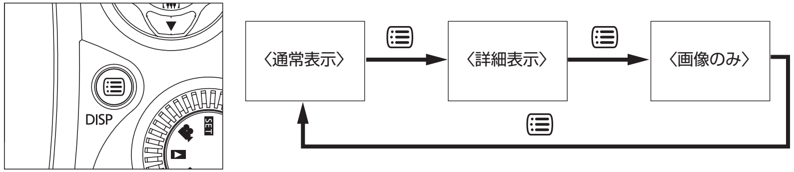
再生モード時　静止画・動画を見る P34



① 再生モードマーク
②画像ナンバー
現在表示されている画像ナンバー／
すべての画像数
③操作ガイド
④電池残量 P19

液晶モニターの表示切替について（撮影時のみ）

静止画撮影モード／動画撮影モード時の液晶モニターの表示は、ディスプレイ（DISP）ボタンで〈通常表示〉／〈詳細表示〉／〈画像のみ〉を切り替えることができます。



〈通常表示〉：基本的な設定内容をアイコン表示する標準的な表示モードです。
〈詳細表示〉：詳細の設定内容をアイコン表示する表示モードです。
〈画像のみ〉：画像のみを表示する表示モードです。

- **ここで選んだ静止画撮影モード／動画撮影モード時の液晶モニターの表示は、電源をオフにすると、〈通常表示〉に戻ります。**
- **表示モードを〈画像のみ〉に設定すると、電池残量やメモリ残量の表示は表示されません。**

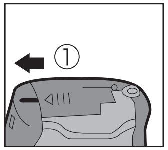
基本操作編

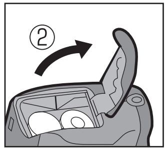
カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

■ 電池を入れる

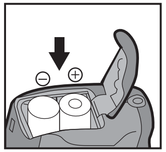
1





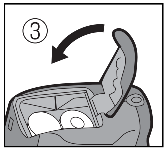
電池／SDメモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

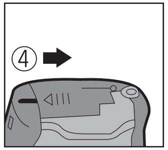
2



＋と－のしるしにあわせて電池を入れます。

3





電池／SDメモリーカードカバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池／SDメモリーカードカバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池／SDメモリーカードカバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池を使用できます。
（日立マクセル（株）HR-3SD推奨）
液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示**をご覧ください。

- **単3形マンガン乾電池は使用できません。**
- **本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。**

電池残量の表示

 電池の残量は十分です。

 電池の残量が少なくなっています。

 まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、ストロボを使用することはできません。また、**フォーマットする** P58 ときなど、正常に動作せず、メモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

 電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- **使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。**
- **電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。**

電池寿命の目安については、**仕様：電池寿命の目安** P83 にてご確認ください。

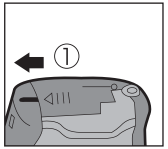
■ SDメモリーカードを入れる

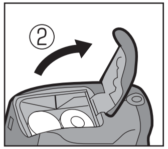
本機を使用して撮影をする場合は、必ずSDメモリーカード（別売）が必要です（32/64/128/256/512MB対応）。

SDメモリーカードについて P9 をあわせてご覧ください。

- 撮影可能枚数・時間の目安については、**仕様：画像記録枚数・時間／データサイズ** P83 をご覧ください。
- 以降、この取扱説明書ではSDメモリーカードのことをメモリーカードと表記します。

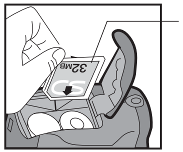
1





電池／SDメモリーカードカバーを、矢印の方向にスライドさせて開きます。

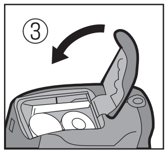
2

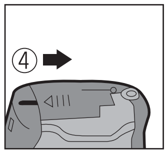


SDメモリーカードスロットにメモリーカードを挿入します。

メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

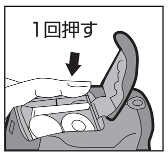




電池／SDメモリーカードカバーを、閉じます。

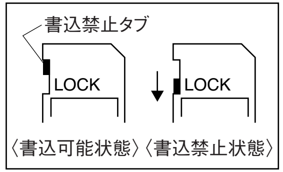
メモリーカードを取り出すには

1



電池／SDメモリーカードカバーを開き、メモリーカードを1回押して取り出します。

メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

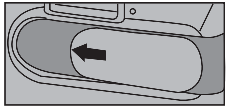


メモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに（カードロックアイコン）が表示され、通常の撮影や消去ができません。

- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
  フォーマットする P58
- メモリーカードを使用するときは、メモリーカードの取扱説明書をあわせてお読みください。

■ 電源のオン／オフ

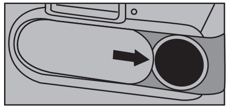
1



レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

BUSYランプが点灯し、モードダイヤルで選ばれているモードで起動し、電源がオンになります。

2



レンズカバーをゆっくりと閉じて電源をオフにします。

液晶モニターの表示がオフになり、電源がオフになります。

レンズカバーの開閉動作が早すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直すか、電池／SDメモリーカードカバーを一度開け閉めしてください。

オートパワーオフ機能

電源オンのままで一切の操作を行わずに約60秒間カメラを放置すると、節電のために自動的に電源がオフになります。
再び使用するときはレンズカバーを操作して電源をオンにしてください。

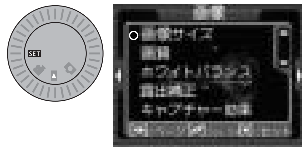
- パソコンとUSB接続している場合や**オート再生** P57 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約1時間バックアップしますが、電池の使用状況によっては、日付／時刻の設定をリセットする場合があります。**
- **設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定にもどす** P25 **操作を行っても保持されます。**

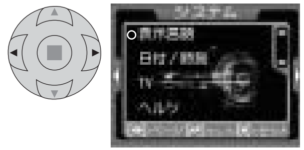
1



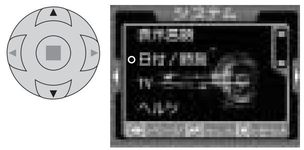
モードダイヤルを SET にします。

[画像]メニューが表示されます。

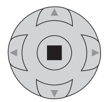
2



【◀】【▶】で、[システム] メニューを選び、



【▲】【▼】で [日付／時刻] を選び、



【■】を押します。

3



「年」→「月」→「日」→「時」→「分」→「秒」の順に【▲】【▼】【◀】【▶】を使ってあわせ、すべて合わせたら【■】を押します。

[システム] メニューに戻ります。

【▲】／【▼】: 数値の＋（プラス）／－（マイナス）
【◀】／【▶】: 数値の決定と項目の移動

■ 電源周波数(ヘルツ)を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

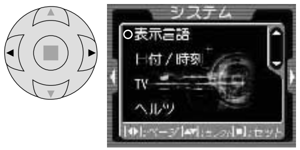
電源周波数の初期設定は[50Hz]に設定されています。

1

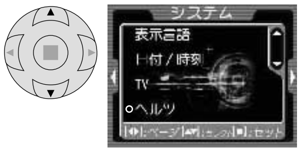


モードダイヤルを SET にします。
[画像]メニューが表示されます。

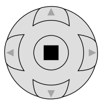
2



【◀】【▶】で、[システム]メニューを選び、

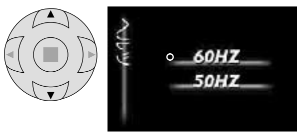


【▲】【▼】で[ヘルツ]を選び、

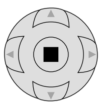


【■】を押します。

3



【▲】【▼】で[60Hz]/[50Hz]を選び、



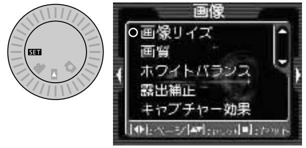
【■】を押します。
選んだ内容を保持し、[システム]メニューに戻ります。

ここで選んだ電波周波数は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P25** **操作を行うと[50Hz]に戻ります。**

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1

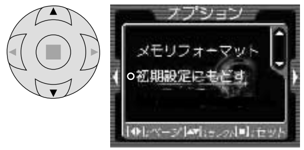


モードダイヤルを SET にします。
[画像]メニューが表示されます。

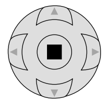
2



【◀】【▶】で、[オプション]メニューを選び、

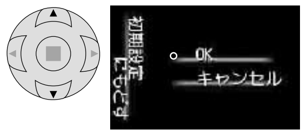


【▲】【▼】で[初期設定にもどす]を選び、

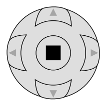


【■】を押します。
確認画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で[OK]/[キャンセル]を選び、



【■】を押します。
[OK]を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、[画像]メニューに戻ります。

各項目の初期設定

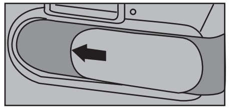
設定項目	初期設定
画像サイズ **P48**	2048×1536
画質 **P48**	ファイン
ホワイトバランス **P51**	オート
露出補正 **P52**	±0
キャプチャー効果 **P47**	ノーマル

設定項目	初期設定
表示言語 **P46**	日本語
TV **P41**	NTSC
ヘルツ **P24**	50Hz
動画撮影時の画像サイズ **P31**	320×240

静止画／動画を撮る

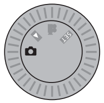
■ 静止画を撮る

1



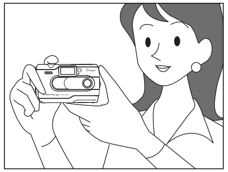
レンズカバーを開き、電源をオンにします。

2



モードダイヤルを 📷 にします。

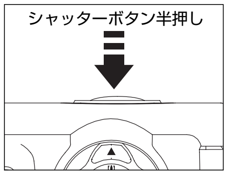
3



脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

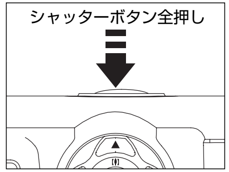
4

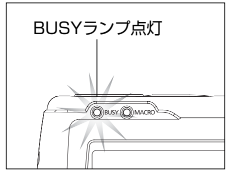


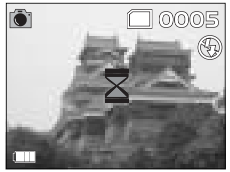
シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【　】が表示されます。

5







半押しのまま、被写体の中心を【　】にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

「ピッ」という音とBUSYランプが点灯し、液晶モニターに ⌛（画像記録中）アイコンを表示し、BUSYランプの消灯で、撮影の完了をおしらせします。

- BUSYランプの点灯中は、“画像記録中”のため、次の撮影はできません。
- 撮影したあとに、BUSYランプが点滅している場合は、ストロボの充電中です。
  ストロボを使う P28
- シャッターボタンを全押しし、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。
  ⌛（画像記録中）の表示が終わるまで、カメラを固定してください。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

①**半押し**（浅く押したとき）→液晶モニターに【　】を表示します。

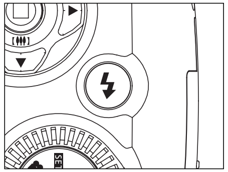
②**全押し**（深く押したとき）→シャッターが切れます。

半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり画像がブレる原因になります。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1



モードダイヤルを にして、 を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。

●ストロボ発光（オート）モードを選ぶと、BUSYランプが点滅し、ストロボの充電中をおしらせします。

発光禁止モード：ストロボは発光しません。**初期設定**
暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

オートモード　：撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。

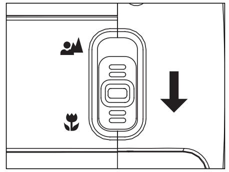
赤目軽減モード（オート）：暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前に赤目軽減ランプが発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

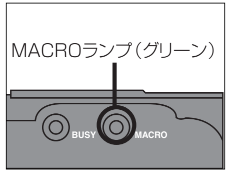
- ストロボによる連動範囲（推奨）は、約0.5m～約2.0mですが、連動範囲（推奨）の有効値は、撮影可能範囲（標準モード時）と連動して、約1.1m～約2.0mになります。
  この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- ここで選んだストロボモードは、再度電源を入れ直すと 発光禁止モードに戻ります。
- 本機には強制ストロボモードは搭載しておりません。
- 電池残量が の場合や マクロモード時は、ストロボは発光しません。
- 電池残量が の場合でも、暗いところの撮影時にストロボが発光しない場合や、ストロボの充電中に電源がオフになる場合があります。その場合は、電池を交換することをおすすめします。
- ストロボの充電には約20秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、撮影することはできません。

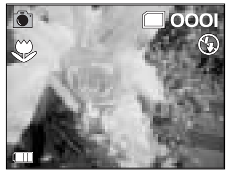
■ 近距離撮影をする（マクロ撮影）

マクロモードに設定して撮影すると、約17cm～約22cmの近距離撮影が可能になります。

1







モードダイヤルを にして、撮影距離切替スイッチを （マクロモード）に切り替えます。

MACROランプの点灯と液晶モニターに が表示され、マクロモードに設定されたことをおしらせします。

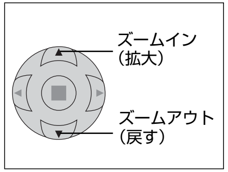
マクロモード：撮影可能範囲約17cm～約22cm
標準モード　：撮影可能範囲約110cm～∞

- マクロモードと標準モード以外の範囲では、焦点が合いにくい場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。
- マクロモードに設定すると、ストロボ発光（オート）モードを選んでいても、ストロボは発光されません。

■ ズームを使う

／ 時に、被写体をズーム倍率4倍（デジタルズーム、9ステップ）で拡大して撮影できます。

1



モードダイヤルを ／ にして、
【▲】【▼】を押して、ズームを調整します。

液晶モニターにズーム倍率がアイコン表示されます。

1.2 ～ 4.0

- **ここで選んだデジタルズームは、撮影後も有効ですが、再度電源を入れ直すと、ズームなし（標準）に戻ります。**
- **デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできません。**

■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画はカメラで再生することができます。

動画を撮影する前に

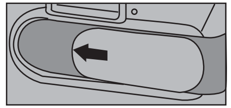
動画を撮影する前に、画像サイズを**クイックメニュー** P53 を使って設定します。

画像サイズ（記録画素数）：

640×480（VGA、約35万画素）
320×240（QVGA、約8万画素） **初期設定**

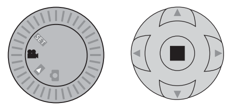
- **画質（圧縮率）やフレームレートを設定することはできません。**
- **画像サイズを大きくすると、データ容量は大きくなり、メモリーカードに記録できる記録時間が少なくなります。各モードでお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。**

1



レンズカバーを開き、電源をオンにします。

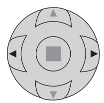
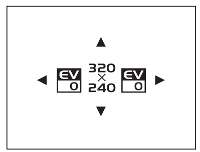
2



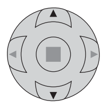
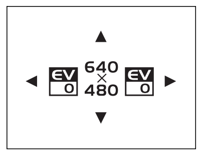
モードダイヤルを にして、【■】を押します。

動画撮影モードのクイックメニューが表示されます。

3

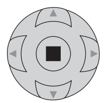



【◀】【▶】で画像サイズを中央にし、

【▲】【▼】で［320×240］／［640×480］を選び、【■】を押します。

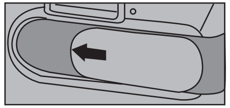
選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。



- **同様の操作で露出補正を設定することもできます。ご使用の状況に応じて設定してください。**

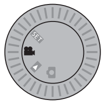
- **ここで選んだ動画撮影モードの画像サイズは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** P25 **操作を行うと［320×240］に戻ります。**

1



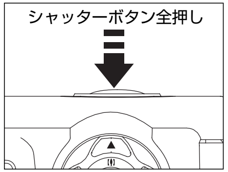
レンズカバーを開き、電源をオンにします。

2



モードダイヤルを 🎥 にします。

3

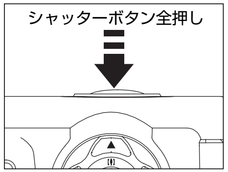




シャッターボタンを全押しします。

- 液晶モニターに撮影秒数が表示され、撮影が開始されたことをおしらせします。

4



撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

動画撮影を停止します。

- **撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的に停止します。**
- **ストロボ撮影、セルフタイマー撮影はできません。マクロ P29 、露出 P52 の設定は動画撮影時も有効です。**
  ホワイトバランス P51 の設定は、設定内容に関わらず [オート] になります。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	640×480ピクセル 320×240ピクセル
記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
圧縮率	1/10
フレームレート	約30フレーム/秒

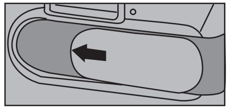
データサイズ、撮影時間については、仕様：画像記録枚数・時間／データサイズ P83 をご覧ください。

- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

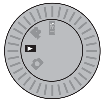
（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック（Compression／Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。

1 

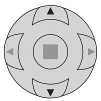
レンズカバーを開き、電源をオンにします。

2 

モードダイヤルを ▶ にします。



最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3 

【▲】【▼】で画像を選びます。

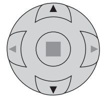
●動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。



ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、ズーム再生することができます。

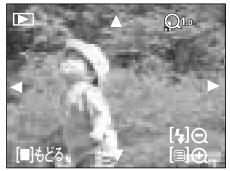
●ズーム再生の最大ズーム倍率は、その静止画像の画像サイズによって異なります。
5M（2592×1944)時：最大8.1倍
3M（2048×1536)時：最大6.4倍
2M（1600×1200)時：最大5.0倍
1M（1280×960)時　：最大4.0倍
●動画像はズーム再生できません。

1 



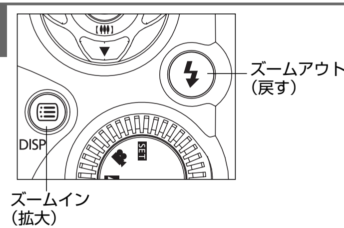
【▲】【▼】でズーム再生したい画像を選びます。

2 

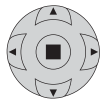


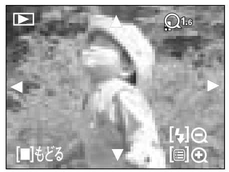
▤（ディスプレイボタン）を押します。

ズーム倍率切り替え可能な画面表示に切り替わります。

3 

▤、ϟでズーム倍率を切り替えます。

4 



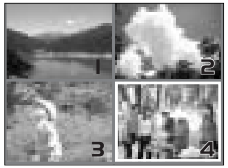
【▲】【▼】【◀】【▶】で、表示位置を変更します。
【■】を押すとズーム再生を解除します。

ズーム再生時に、モードダイヤルを切り替えたり、再度電源を入れ直したりすると、ズーム再生は解除されます。

インデックス再生をする場合は

液晶モニターに4分割で複数の画像を表示させることができます。たくさんの画像を撮影した際など、画像を選ぶのに便利です。

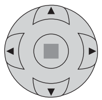
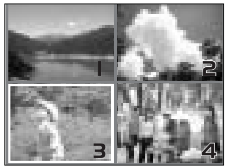
1

シングル再生時にϟ(ストロボボタン)を押します。

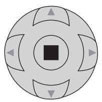
インデックス再生画面になります。

2

【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選びます。

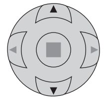
3




【■】を押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

動画を再生する場合は

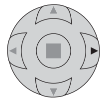
1




【▲】【▼】で再生したい動画像を選びます。

動画像には、と操作ガイド部分に
【▶】：再生が表示されます。

2




【▶】を押すと、再生をスタートし、液晶モニターに再生秒数を表示します。

3

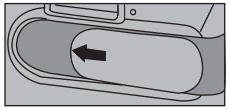
再生時に【◀】を押すと、再生を停止し最初の1フレーム表示に戻り、【▶】を押すと一時停止します。

【◀】：再生停止（最初の1フレーム表示に戻る）
【▶】：再生スタート／一時停止

画像を消去する

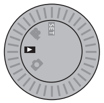
一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

1



レンズカバーを開き、電源をオンにします。

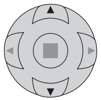
2





モードダイヤルを ▶ にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

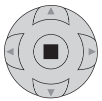
3





【▲】【▼】で消去したい画像を表示させます。

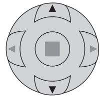
4





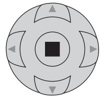
【■】を押します。
［消去］メニューが表示されます。

5



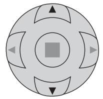


【▲】【▼】で［消去］を選び、



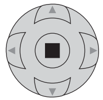
【■】を押します。
消去確認の画面が表示されます。
- この時点ではまだ消去されていません。

6





【▲】【▼】で ［OK］／［キャンセル］を選び、

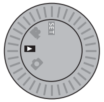


【■】を押します。
- ［キャンセル］を選ぶと消去を中止して、［消去］メニューに戻ります。続けて消去を行う場合は、再度［消去］を選び操作してください。

すべての画像を消去する場合は、**すべての画像を消去する場合** P40 の手順で操作してください。

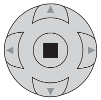
すべての画像を消去する場合

1



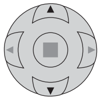

モードダイヤルを ▶ にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

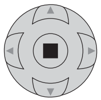



【■】を押します。
[消去] メニューが表示されます。

3

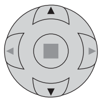
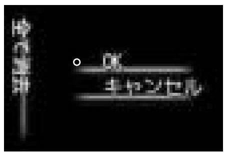



【▲】【▼】で [全て消去] を選び、

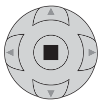


【■】を押します。
消去確認の画面が表示されます。
- **この時点ではまだ消去されていません。**

4

【▲】【▼】で ［OK］／［キャンセル］を選び、



【■】を押します。
- [OK]を選ぶと、すべての画像が消去され、再生モードに戻り、「画像がありません」と表示されます。
- [キャンセル] を選ぶと、[消去] メニューに戻ります。

テレビを使って再生／撮影する

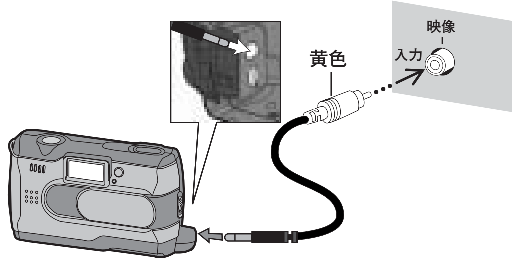
同梱のビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。

1 **テレビと接続する前に** P42 **に従って、テレビの方式を確認します。**

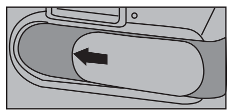
2 **ビデオケーブルのミニプラグ（細い方）をカメラのビデオ出力端子に差し込み、ピンプラグ（太い方）をテレビのビデオ映像端子に接続します。**

〈テレビのビデオ映像端子〉



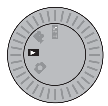
3 **テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。**

4



レンズカバーを開き、カメラの電源をオンにします。
テレビに画像が表示されます。

5



再生する場合は、モードダイヤルを ▶ に、撮影する場合は 📷／🎥 にします。

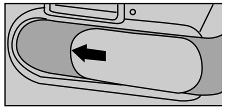
- 接続した際は、ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

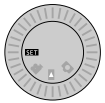
NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど **初期設定**
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

1



レンズカバーを開き、電源をオンにします。

2

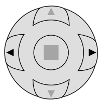


モードダイヤルを SET にします。



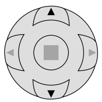
[画像] メニューが表示されます。

3



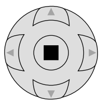


【◀】【▶】で [システム] メニューを選び、



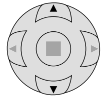


【▲】【▼】で [TV] を選び、



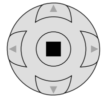
【■】を押します。

4





【▲】【▼】で [NTSC] ／ [PAL] を選び、



【■】を押します。

選んだ内容を保持し、[システム] メニューに戻ります。

ここで選んだテレビの方式は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 **操作を行うと [NTSC] に戻ります。**

応用操作編

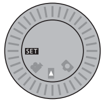
より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

準備について

■ 表示言語を設定する

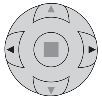
液晶モニターの表示言語は、日本語 **初期設定** 、英語（English）、ドイツ語（Deutsch）、スペイン語（Español）から選ぶことができます。

1

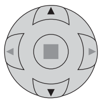



モードダイヤルを SET にします。
［画像］メニューが表示されます。

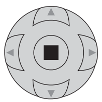
2




【◀】【▶】で、［システム］メニューを選び、

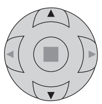
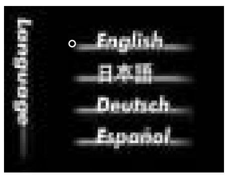



【▲】【▼】で［表示言語（Language）］を選び、

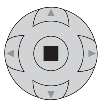


【■】を押します。

3

【▲】【▼】で表示言語を選び、



【■】を押します。
選んだ内容を保持し、［システム］メニューに戻ります。

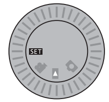
ここで選んだ表示言語は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P25** **操作を行うと［日本語］に戻ります。**

■ キャプチャー効果を設定する

静止画撮影モード時の撮影後の画面効果を設定することができます。

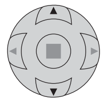
ノーマル　：特に画面効果を設定しない通常の撮影時の設定です。**初期設定**
特別効果1：左上からのフレームイン効果を加えます。
特別効果2：中央へのワイプ効果を加えます。
特別効果3：左上へのフレームアウト効果を加えます。

1

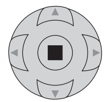



モードダイヤルを SET にします。
［画像］メニューが表示されます。

2

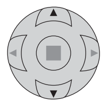



【▲】【▼】で、［キャプチャー効果］を選び、

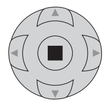


【■】を押します。

3




【▲】【▼】でキャプチャー効果の種類を選び、



【■】を押します。
選んだ内容を保持し、［画像］メニューに戻ります。
モードダイヤルを にして、試し撮りを行うと選んだキャプチャー効果で撮影できます。

ここで選んだキャプチャー効果は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P25** **操作を行うと［ノーマル］に戻ります。**

撮影について

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

画像サイズ（記録画素数）

5M 2592×1944（約504万画素）
3M 2048×1536（約315万画素）**初期設定**
2M 1600×1200（192万画素）
1M 1280×960（約123万画素）

2592×1944（約504万画素）は補間処理によるものです（Pixel Amp機能）。

画質（圧縮率）

ファイン（低圧縮（1/8）モード）**初期設定**
ノーマル（標準圧縮（1/20）モード）

- 画像サイズ、画質は**クイックメニュー** P53 でも設定できます。
- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと［画像サイズ］は 3M 2048×1536に、［画質］は ファインに戻ります。

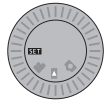
画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、データ容量は大きくなり、メモリーカードに記録できる画像枚数が少なくなります（（画像記録中）の時間も長くなります）。2592×1944／2048×1536はプリントユースで使用する場合、1600×1200／1280×960はメール添付用などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。
動画撮影時の画像サイズ（記録画素数）の切り替えは320×240／640×480になります。**動画を撮る** P31

各画像サイズや画質での記録枚数やデータサイズについては、**仕様：画像記録枚数及び時間／データサイズ** P83 をご覧ください。

画像サイズを設定する場合

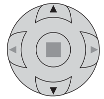
1





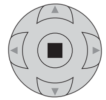
モードダイヤルを SET にします。
［画像］メニューが表示されます。

2



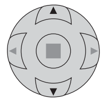


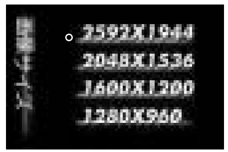
【▲】【▼】で、［画像サイズ］を選び、



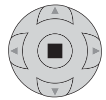
【■】を押します。

3





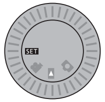
【▲】【▼】で画像サイズを選び、



【■】を押します。
選んだ内容を保持し、［画像］メニューに戻ります。

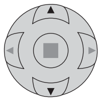
画質を設定する場合

1

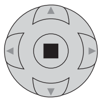



モードダイヤルを SET にします。
[画像]メニューが表示されます。

2

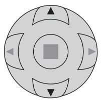



【▲】【▼】で、[画質] を選び、

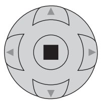


【■】を押します。

3




【▲】【▼】で [ファイン] /[ノーマル] を選び、



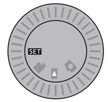
【■】を押します。
選んだ内容を保持し、[画像] メニューに戻ります。

■ ホワイトバランスを設定する

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

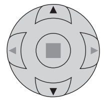
- **オート**:カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**
- **太陽光**:晴天下での撮影
- **白熱灯**:白熱灯下での撮影
- **蛍光灯**:蛍光灯下での撮影
- **曇り**:曇天下での撮影

1

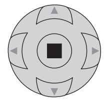



モードダイヤルを SET にします。
[画像]メニューが表示されます。

2

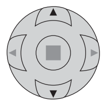
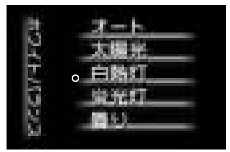



【▲】【▼】で、[ホワイトバランス] を選び、

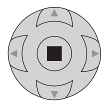


【■】を押します。

3

【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、



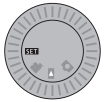
【■】を押します。
選んだ内容を保持し、[画像] メニューに戻ります。

- ホワイトバランスは**クイックメニュー** P53 でも設定できます。
- **ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** P25 操作を行うと [オート] に戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する

本機の露出制御方式にはプログラムAEを採用しておりますが、逆光や背景が明るい場所での撮影など被写体が暗い場合に露出補正をすることができます（－2.0EV～＋2.0EV（0.5EVステップ））。

1

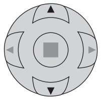




モードダイヤルを SET にします。

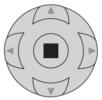
［画像］メニューが表示されます。

2



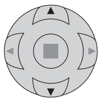


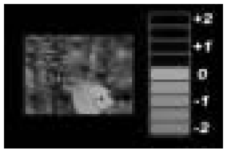
【▲】【▼】で、［露出補正］を選び、



【■】を押します。

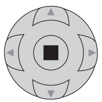
3





【▲】【▼】で露出補正の段階を選び、

【▲】：明るくする（＋）
【▼】：暗くする（－）



【■】を押します。

選んだ内容を保持し、［画像］メニューに戻ります。

- **ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 操作を行うと［±0］に戻ります。**

■ クイックメニューを使う

静止画撮影モード／動画撮影モード時に、クイックメニューを使用すると、モードダイヤルで SET セットアップモードを選ばなくても、以下の設定を行うことができます。

クイックメニューで設定できる内容と表示

クイックメニューで設定できる内容は、静止画撮影モード時と動画撮影モード時では異なります。

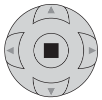
静止画撮影モード時：

設定項目	設定内容
画像サイズ P48 （記録画素数）	5M 2592×1944（約504万画素）／ 3M 2048×1536（約315万画素）初期設定／ 2M 1600×1200（192万画素）／ 1M 1280×960（約123万画素）
画質（圧縮率）P48	ファイン 初期設定／ノーマル
ホワイトバランス P51	オート 初期設定／太陽光／ 白熱灯／蛍光灯／曇り
セルフタイマー P55	オン／オフ

動画撮影モード時

設定項目	設定内容
画像サイズ（記録画素数） P31	640×480（約35万画素）／320×240（約8万画素）初期設定
露出補正 P52	－2.0EV～±0 初期設定～2.0EV

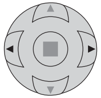
1

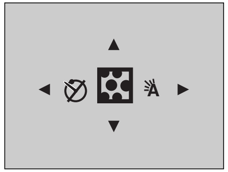


モードダイヤルを またはに して、【■】を押します。

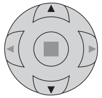
クイックメニューが表示されます。

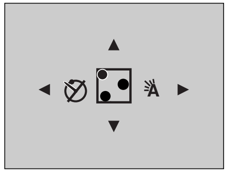
2



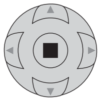


【◀】【▶】で設定したい項目を中央にし、





【▲】【▼】でその設定内容を選び、



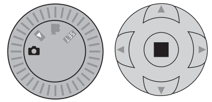
【■】を押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

■ セルフタイマーで撮る

セルフタイマー機能を使用して撮影することができます（タイマー時間10秒）。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

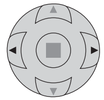
1

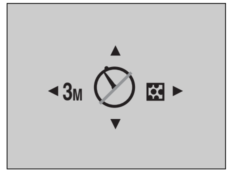


モードダイヤルを にして、【■】を押します。

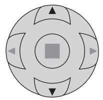
静止画撮影モードのクイックメニューが表示されます。

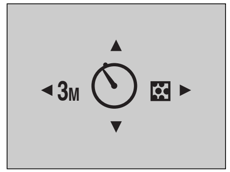
2



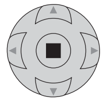


【◀】【▶】で、（セルフタイマー）を画面の中央にし、





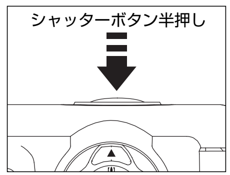
【▲】【▼】で（オン）を選び、



【■】を押します。

液晶モニターに が表示されます。

3



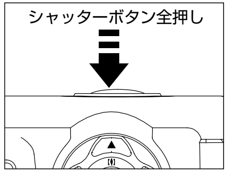
構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【　】が表示されます。

応用操作編

撮影について

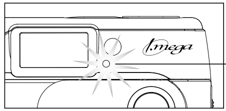
4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。



- 液晶モニター内に数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、約7秒後（撮影約3秒前）からセルフタイマーランプ（レッド）が点滅し、10秒後に撮影されます。



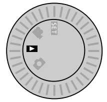
- セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、電源をオフにしてください。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正など）はセルフタイマー撮影時も有効です。
- セルフタイマーモードは、再度電源を入れ直すとオフになります。

再生について

■ オート（スライドショー）再生をする

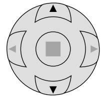
メモリカード内にあるすべての画像を約4秒間隔でオート再生することができます。

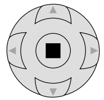
1




モードダイヤルを ▶ にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

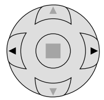
2



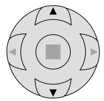



【▲】【▼】でオート再生を開始したい一つ前の画像を選び、【■】を押します。
例）0003の画像から開始したい場合は
　　0002の画像を選びます。
［消去］メニューが表示されます。

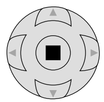
3




【◀】【▶】で［機能］メニューを選び、




【▲】【▼】で［オート再生］を選び、



【■】を押します。
選んだ次の画像からオート再生を開始します。
- 再生中に、【■】を押すと、オート再生をストップします。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- オート再生中の表示モードは、設定することはできません。
- オート再生中は**オートパワーオフ機能** P22 ははたらきません。

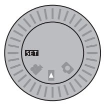
消去について

■ フォーマットする

フォーマット（初期化）とはメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

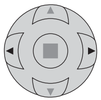
- 他のデジタルカメラやパソコンで使用されたメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
- フォーマット（初期化）するとメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。
  一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、メモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

1

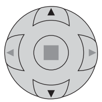



モードダイヤルを SET にします。
［画像］メニューが表示されます。

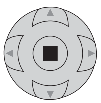
2




【◀】【▶】で［オプション］メニューを選び、

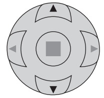
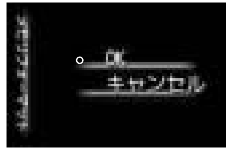



【▲】【▼】で［メモリフォーマット］を選び、

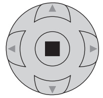


【■】を押します。
- **この時点ではまだフォーマットされていません。**

3

【▲】【▼】で［OK］／［キャンセル］を選び、



【■】を押します。
- ［OK］を選ぶと、フォーマットが実行され、［オプション］メニューに戻ります。
- ［キャンセル］を選ぶと［オプション］メニューに戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法、PCカメラとして使用する方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows Me/2000/XP 日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種
□CD-ROM読み込みドライブを標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

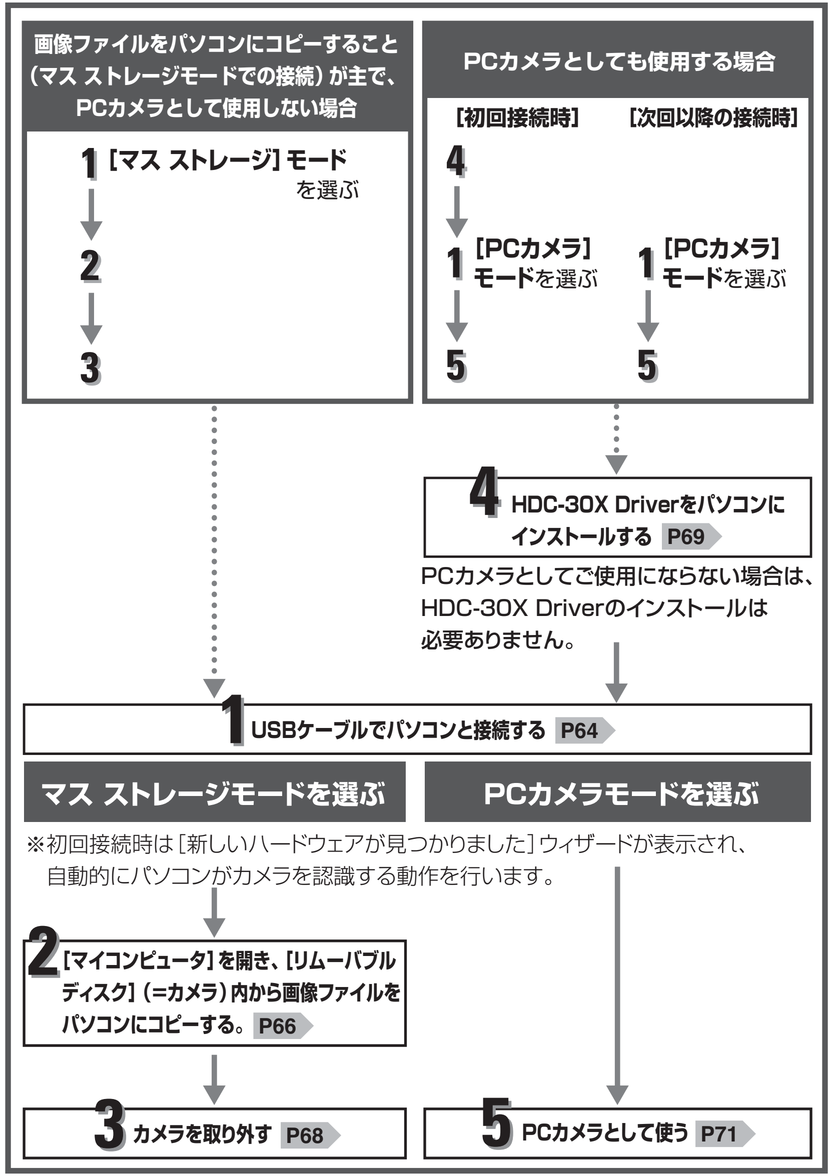
■ パソコン接続モードについて

本機には以下の2種類のパソコン接続モードがあります。

①マス ストレージ（Mass Storage）モード（リーダ／ライタ接続）
デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーする（取り込む）場合や、デジタルカメラをリムーバブルディスク、リーダ／ライタとして使用する場合に選びます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

②PCカメラモード
デジタルカメラをPCカメラとして使用する場合に選びます。

■ パソコンと接続する場合の流れ



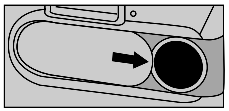
1 USBケーブルでパソコンと接続する

- **PCカメラとしてお使いの場合は、**カメラとパソコンを接続する前に、**4 HDC-30X Driverをインストールする** P69 を行う必要があります。
- 画像ファイルをパソコンにコピーすること（マス ストレージモードでの接続）が主で、**PCカメラとして使用しない場合は、**インストールが自動的に行われますので、**HDC-30X Driverをインストールする必要はありません**。以下の手順に従って、操作してください。

USB接続時のご注意

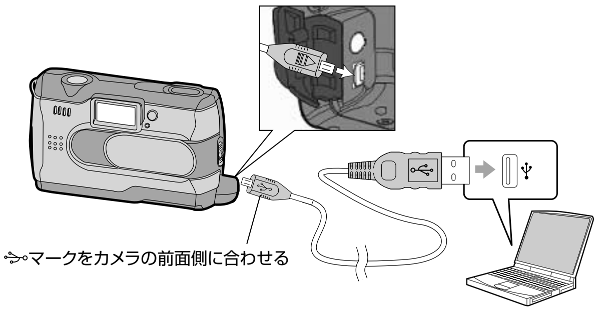
- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されます。
- 通信中にUSBケーブルを抜いたり、カメラ（インターフェースカバー、モードダイヤル、コントロールパネル、シャッターボタンなど）に触れないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P68 に従って操作してください。

1



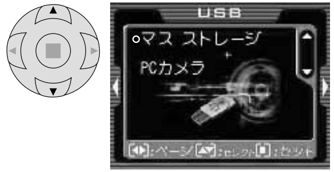
カメラの電源がオフになっているかを確認します。オフになっていない場合は、レンズカバーを閉じて、電源をオフにします。

2 USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ接続し、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

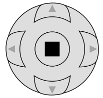


3 レンズカバーを開き、カメラの電源をオンにします。
[USB] メニュー（パソコン接続モードの選択画面）が表示されます。

4



【▲】【▼】で [マス ストレージ] ／ [PCカメラ] を選び、



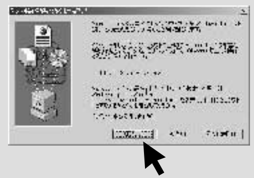
【■】を押します。

パソコン接続モードについて P62

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- WindowsXPをお使いで、[マス ストレージ] を選んだ場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリックします。



- Windows2000をお使いで、[PCカメラ] を選んだ場合に、「デジタル署名が見つかりませんでした。」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

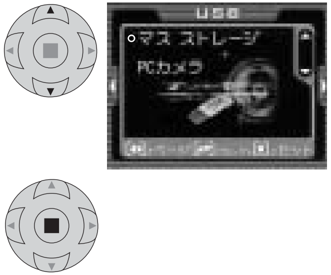


4 で [マス ストレージ] を選んだ場合は、**2 画像ファイルをパソコンへコピーする** P66 へ、[PCカメラ] を選んだ場合は、**5 PCカメラとして使う** P71 へ進んでください。

2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1



1 USBケーブルでパソコンと接続する P64 **に従い、カメラとパソコンを接続し、4 で［USB］メニュー（パソコン接続モードの選択画面）から、【▲】【▼】で［マスストレージ］を選び、【■】を押します。**

液晶モニターが表示オフになり、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

2



［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］をダブルクリックして開きます。

●［リムーバブルディスク］が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P79 をご覧下さい。

3



［DCIM］フォルダをダブルクリックして開きます。

4



［100_HCAM］フォルダをダブルクリックして開きます。

5



パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

●同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップ・・・

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うこと。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）こと。

●コピー（通信）中は絶対にUSBケーブルを抜いたり、カメラ（インターフェースカバー、モードダイヤル、コントロールパネル、シャッターボタンなど）に触れないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
●フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P58 操作を行うと、すべて消去されますのでご注意ください。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：
XXX_HCAM
フォルダの通し番号（100～999）

ファイル名について：
HIMGYYYY.jpg（動画ファイルは.avi）
ファイルの通し番号（0001～9999）

フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。

3 カメラを取り外すときは

●カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
●この操作はPCカメラモードで接続している場合は必要ありません。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。



タスクバー

〈WindowsXPの場合〉



〈Windows2000の場合〉



〈WindowsMeの場合〉



［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックします。
（Windows XPでは［OK］のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

4 HDC-30X Driverをパソコンにインストールする

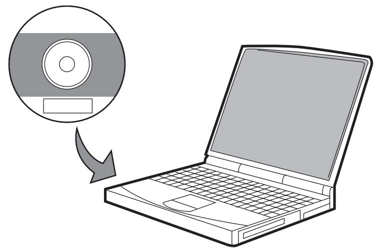
〈デジタルカメラをPCカメラとして使用する場合のみ〉

本機をPCカメラとしても使用する場合は、最初にHDC-30X Driver（for PC CAMERA USE ONLY）をインストールする必要があります。
手順に従って、HDC-30X Driverをパソコンにインストールしてください。

●画像ファイルをパソコンにコピーすること（マス ストレージモードでの接続）が主で、PCカメラとして使用しない場合は、インストールが自動的に行われますので、この手順は必要ありません。**パソコンと接続する場合の流れ** P63
●ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラをパソコンに接続しないでください。また、他のアプリケーションはすべて終了しておいてください。
●Windows2000/XPをお使いの場合は、Administrator（管理者制限）でログオンしてください。
●正しくインストールできた場合は、次回以降の接続時にはこの手順は必要ありません。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

インストールメニューが自動的に表示されます。
●インストールメニューが表示されない場合は、［マイコンピュータ］内の［HDC-30X］内の「HDC30X（.exe）」をダブルクリックしてください。



2 ［Install HDC-30X Driver（for PC CAMERA USE ONLY）］をクリックします。



3



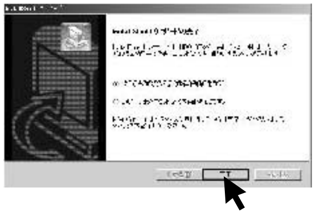
［設定言語の選択］画面が表示されたら、表示言語（［日本語］）を選び、［OK］をクリックします。

4



［Install Shieldウィザード］（ようこそ）画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

5



［Install Shieldウィザードの完了］（再起動の確認）画面が表示されたら、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選んで、［完了］をクリックします。

コンピュータが再起動し、インストールが完了します。

Windows XPでは、再起動の確認は表示されません。そのまま［完了］をクリックします。

- インストールが完了したら、 **5 PCカメラとして使う** P71 に進んでください。
- HDC-30X Driverをアンインストール（削除）する場合は、**HDC-30X Driverをアンインストール（削除）する** P72 の手順にしたがって操作してください。

5 PCカメラとして使う

本機は、PCカメラモードでパソコンとUSB接続することにより、PCカメラとして使用することができます。

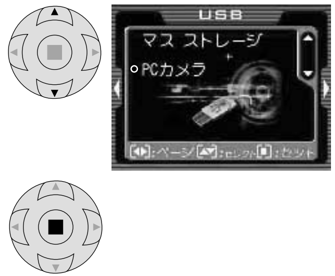
PCカメラとして使用する場合は、カメラとパソコンを接続する前に、**4 HDC-30X Driverをインストールする** P69 を行う必要があります。

〈別途ご準備頂きたいこと〉

本パッケージにはPCカメラ用ソフトウェアは同梱されておりませんので、PCカメラとして使用される場合は、Microsoft NetMeetingやWindows MessengerなどのPCカメラ用ソフトウェアを別途ご準備頂く必要があります。

また、インターネットやLAN接続を通じて、テレビ電話やWEBチャットなどで使用される場合は、モデムなどのネットワーク機器、スピーカやマイクなどのサウンド機器を別途ご準備頂く必要があります。

1



1 USBケーブルでパソコンと接続する P64 **に従い、カメラとパソコンを接続し、4 で［USB］メニュー（パソコン接続モードの選択画面）から、【▲】【▼】で［PC カメラ］を選び、【■】を押します。**

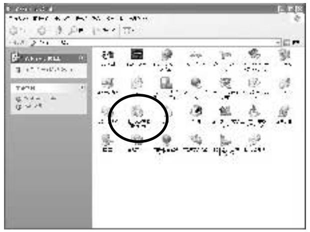
液晶モニターが表示オフになります。

- 解像度やフレームレートの設定は、パソコンのソフトウェア側で行ってください。カメラ側では設定できません。
- PCカメラとして映し出された映像を、静止画または動画として保存できるかどうかは、PCカメラ対応ソフトウェアの取扱説明書やヘルプにて確認してください。

■ HDC-30X Driverをアンインストール（削除）する

- アンインストール（削除）は、インストールしたHDC-30X Driverが不要になった場合のみ行ってください。
- カメラとパソコンを接続した状態では行わないでください。またパソコンのアプリケーションはすべて終了しておいてください。

1



［マイコンピュータ］内の［コントロールパネル］内から［アプリケーション（プログラム）の追加と削除］をダブルクリックします。

2



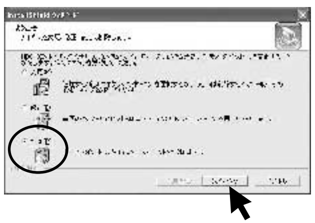
［HDC-30X］を選んで、［追加（変更）と削除］をクリックします。

3



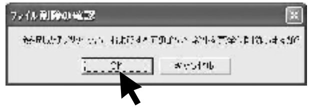
［設定言語の選択］画面が表示されたら、表示言語（［日本語］）を選び、［OK］をクリックします。

4



［Install Shieldウィザード］（メンテナンス方法の選択）画面が表示されたら、［削除］を選び、［次へ］をクリックします。

5



［ファイル削除の確認］画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

［OK］をクリックすると、アンインストールが実行されますので、操作は慎重に行ってください。

6



［［Install Shieldウィザード］（メンテナンスの完了）画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

付録

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●レンズカバーの開閉動作が早すぎた。	→もう一度ゆっくりと開閉動作を行う。
	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。P18
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P18
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにする。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	–
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	–
	●再生モードを多用している。	–
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。	
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。P22
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P18
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	–
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P18
	●ストロボ充電している。（ストロボ発光（オート）モードに切り替えた直後）	→ストロボの充電が終わるまでお待ちください。

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●▶再生モードもしくはSETセットアップモードになっている。	→モードダイヤルを静止画撮影モードもしくは動画撮影モードにする。P12
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P22
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所で撮影する。
撮影できない。	●SDメモリーカード（別売）が入っていない。	→SDメモリーカードを入れる。P20
	●（画像記録中）にシャッターボタンを押した。	→（画像記録中）の表示が終わってから撮影する。P27
	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→BUSYランプの点滅が終わってから撮影する。P28
	●静止画撮影時、動画撮影もしくは▶再生モードになっている。	→モードダイヤルを静止画撮影モードに切り替える。P12
	●動画撮影時、静止画撮影もしくは▶再生モードになっている。	→モードダイヤルを動画撮影モードに切り替える。P12
	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。P22
	●メモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。P31 P48 →メモリーカード内の画像を消去する P38 か、別のメモリーカードと交換する P20 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P21
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが⚡発光禁止モード（初期設定）になっている。	→ストロボモードをA⚡もしくはA⚡にする。
	●マクロモードになっている。	→標準モードに切り替えて、再度、ストロボ発光（オート）モードを選択する。P29
	●電池残量が少ない場合は、A⚡もしくはA⚡を選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	–
	●被写体が明るい。本機にはストロボ強制発光モードは搭載しておりません。	–

症状	原因	処置
ストロボ撮影ができない。	●電池が消耗している。電池残量表示が 以下の場合は、ストロボは発光しません。	→新しい電池と交換する。P18
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ有効連動範囲（約1.1～約2.0m）で撮影する。P28
画像がぼやけている。	●レンズやストロボに指がかかっている。	→カメラを正しく構える。
	●マクロモードで遠景を撮影している。	→標準モード（約110cm～∞）に切り替える。P29
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（マクロ時：約17cm～約22cm、標準時：約110cm～∞）で撮影する。P29
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ブレ・手ブレ	→画像サイズを小さくする。P48 → 画像記録中の表示が終わるまでカメラを固定して撮影する。P27 →三脚を使うなどして、カメラを固定して撮影する。
画像にしまが入る。	●電源周波数（ヘルツ）が影響している。	→電源周波数（ヘルツ）を合わせる。P24
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	－
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→メモリーカード内の画像を消去する P38 か、別のメモリーカードと交換する P20 。
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P18

静止画／動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→モードダイヤルを 再生モードに切り替える。P12
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります	－

画像／データを消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに が表示）	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P21
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	－

テレビを使って再生／撮影する

症状	原因	処置
テレビに画像が表示されない。	●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。	→テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。
	●ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→テレビとカメラからビデオケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。
テレビの画像が乱れている（カラーにならないなど）。	●[TV] の設定が [PAL] になっている。	→[NTSC] に切り替える。P41

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク] が表示されない､PCカメラとして認識されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P64 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●パソコン接続モードが正しく設定されていない。	→目的に応じてパソコン接続モード［マスストレージ］／［PCカメラ］を設定する。P62 **[PCカメラ] モードを選んでいるときは、[リムーバブルディスク] は表示されません。**
	●PCカメラとしてお使いの場合で、HDC-30X Driverがインストールされていない。	→PCカメラとしてお使いの場合は、HDC-30X Driverをインストールする必要があります。P69

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク] が表示されない、PCカメラとして認識されないなど）	●PCカメラとしてお使いの場合で、HDC-30X Driverをインストールする前に、カメラとパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。[デバイスマネージャ]を開き、[その他のデバイス] が表示されていないか確認してください。	→[その他のデバイス] が表示されていたら、認識されなかったデバイス（「？」マーク）を [削除] しパソコンを再起動してから、HDC-30X Driverをインストールする。
	●マス ストレージモードの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ] を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] に黄色い「！」マークが付いているときは、そのデバイスを [削除] してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。 [デバイスマネージャ] を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。（[USB] メニューが表示されないなど）	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P64 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。 必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときは に従って操作する。P68

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ] は、[マイコンピュータ] から右クリックで [プロパティ] を選ぶか、[コントロールパネル] から [システム] をダブルクリックして、[システムのプロパティ] から開きます。



その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語（Language）] が [English] なっている。	→[表示言語] を [日本語] に切り替える。P46
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
カメラの操作ができない。（BUSYランプの点灯が消えないなど）	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →メモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P20 →別のメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げご販売店へご相談ください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P18
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。P22

警告表示など

症状	原因	処置
 / 	●SDメモリーカード（別売）が入っていない。	→SDメモリーカードを入れる。P20
 /  （カードロックアイコン）	●メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P21
メモリ残量がありません	●メモリーカードのメモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。P31 P48 →メモリーカード内の画像を消去する P38 か、別のメモリーカードと交換する P20 。
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。

■仕様

有効画素数		約315万画素
撮像素子		1/2インチCMOSイメージセンサー（総画素数：約318万画素）
記録媒体		SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB対応）（※1）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF2.0、EXIF2.1準拠）
	記録画素数	2592×1944ピクセル（約504万画素）（※2）／ 2048×1536ピクセル（約315万画素）／ 1600×1200ピクセル（192万画素）／ 1280×960ピクセル（約123万画素）
	JPEG圧縮率	ファイン（低圧縮（1/8）モード）／ノーマル（標準圧縮（1/20）モード）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
	記録画素数	320×240／640×480
	フレームレート	30フレーム/秒
PCカメラ（USB接続）		320×240／640×480、最大約20フレーム/秒（※3）
レンズ	構成	5群4枚（非球面レンズ2枚）
	焦点距離	f=8.46mm [35mmフィルム換算：約45mm]
	F値（最大値）	F2.8
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタルズーム：4倍（9ステップ）
液晶モニター		1.6型TFTカラー液晶、約8.5万画素（354×240ピクセル）
ファインダー		液晶モニター
撮影可能範囲		標準：約110cm～∞、マクロ：約17cm～約22cm
シャッター		電子シャッター、1/10～1/1000秒
撮像感度		ISO100相当
測光方式		中央部重点平均測光（64ポイント測光）
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV～+2.0EV（0.5EVステップ）
ホワイトバランス		オート／太陽光／白熱灯／蛍光灯／曇り
ストロボ	連動範囲（推奨）	約0.5m～約2.0m（※4）
	発光モード	オート／赤目軽減（オート）／発光禁止
セルフタイマー		タイマー時間10秒
再生モード		シングル再生、ズーム再生、インデックス再生、オート再生、動画再生
オートパワーオフ		約60秒
インターフェース		USB（1.1仕様）、ビデオ出力（NTSC/PAL 切り替え）
電源		単3形乾電池2本（アルカリ乾電池／ニッケル水素電池（別売））、 USB接続時：パソコンより供給
外形寸法		幅93×奥行37×高さ56mm（突起部除く）
質量		約100g（電池、付属品除く）
使用条件		0℃～40℃、湿度90%以下（結露しないこと）
付属品		専用USBケーブル、インストール用CD-ROM（PCカメラ専用）、 専用ビデオケーブル、ストラップ、カメラポーチ、 単3形アルカリ乾電池2本

（※1）SDメモリーカードは別売です。
（※2）2592×1944ピクセルモードは補間処理によるものです。
（※3）パソコンの動作環境などにより、少ない数値になる場合があります。
（※4）連動範囲（推奨）の有効値は、撮影可能範囲（標準モード時）と連動して約1.1m～約2.0mになります。

画像記録枚数・時間／データサイズ

記録画素数（ピクセル）	JPEG 圧縮率	1コマの データサイズ	SDメモリーカード 32MB（別売）
2592×1944（約504万画素）	ファイン	約1,250KB	約 25枚
	ノーマル	約 585KB	約 53枚
2048×1536（約315万画素）	ファイン	約 843KB	約 37枚
	ノーマル	約 370KB	約 82枚
1600×1200（192万画素）	ファイン	約 543KB	約 57枚
	ノーマル	約 258KB	約120枚
1280×960（約123万画素）	ファイン	約 362KB	約 86枚
	ノーマル	約 188KB	約165枚
640×480【動画】	−	約1,084KB/秒	約 29秒
320×240【動画】	−	約 593KB/秒	約 53秒

●画像記録枚数・時間及びデータサイズは、あくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安

電池種類	連続撮影時	循環撮影時		再生時間
		ストロボ発光	ストロボ無し	
単3形アルカリ乾電池LR6	約700枚	約40枚	約190枚	約150分

check! 撮影枚数・再生時間は、標準環境において、2048×1536／ファインモードで、以下の条件で撮影した場合、約3秒1コマを連続で再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
［連続撮影］ストロボ無しでの撮影を連続で行った場合
［循環撮影］被写体確認5秒→撮影→再生5秒を繰り返し行った場合
※両条件ともにメモリ残量がなくなった時点で全ての画像を消去。

メ　モ

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87

（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL　0120−8802−28
FAX　03−3260−9739

（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス
http://www.hitachi-ls.co.jp/

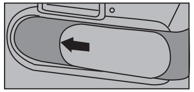
とにかく撮ってみる

詳しくは**静止画を撮る P26** をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、**SDメモリーカードを入れる P20** に従って、メモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードは別売です。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、**日付／時刻を合わせる P23** の手順で日付／時刻を設定してください。

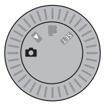
■ 静止画を撮る

1



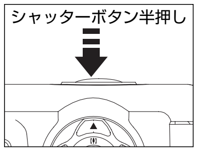
レンズカバーを開き、電源をオンにします。

2



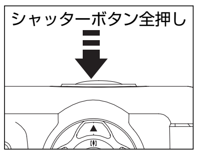
モードダイヤルを 📷 にします。

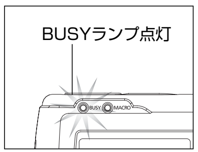
3

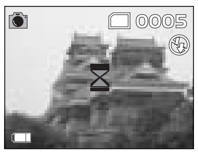


被写体が液晶モニターに収まるように構図を決め、シャッターボタンを半押しします。
液晶モニターに［　］が表示されます。

4







半押しのまま、被写体の中心を［　］にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
「ピッ」という音とBUSYランプが点灯し、液晶モニターに⌛（画像記録中）アイコンを表示し、BUSYランプの消灯で、撮影の完了をおしらせします。

- シャッターボタンを全押しし、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。
  ⌛（画像記録中）の表示が終わるまで、カメラを固定してください。

シャッターボタンの押し方

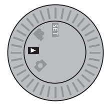
シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。
①**半押し**（浅く押したとき）→液晶モニターに［　］を表示します。
②**全押し**（深く押したとき）→シャッターが切れます。

半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり画像がブレる原因になります。

撮影した画像を見る

詳しくは**静止画/動画を見る P34** をご覧ください。

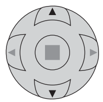
1





モードダイヤルを ▶ にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2



【▲】【▼】で画像を選びます。



【▲】



【▼】



【ズーム再生】：シングル再生で表示された画像をズーム再生することができます。
シングル再生画面から、☰（ディスプレイボタン）を押してズーム倍率切り替え可能画面に切り替えます。
☰（ディスプレイボタン）：ズームイン（拡大）
⚡（ストロボボタン）：ズームアウト（戻す）
【■】：ズーム再生解除
- 拡大時に【▲】【▼】【◀】【▶】を押すと、表示位置を変更できます。

【インデックス再生】：シングル再生時に⚡（ストロボボタン）を押すと、液晶モニターに4分割で複数の画像を表示させることができます。
【▲】【▼】【◀】【▶】：画像の選択
【■】：選んだ画像をシングル再生する場合